

【資料7：リーフレット】

🐣 新生児聴覚検査の流れ 🌸

出生入院中

初回検査

反応なし → 再検査

反応あり → 精密検査

生後3か月

再検査

反応なし → 精密検査

反応あり → 精密検査

生後6か月

精密検査

聴覚障がいまたはその疑い → 治療・療育開始

異常なし → この時点でのきこえの心配はありません。今後もきこえの様子をつけて、家庭や市町村の乳幼児健診でことばやきこえの確認をしましょう。

きこえとことばのチェックシート

<3 か月頃>

- 大きな音に驚く
- 音がする方に向く
- 泣いているときに、声をかけると泣き止む
- 話しかけると「アー」「ウー」など声をだす

<6 か月頃>

- 音が出るおもちゃを好む
- 両親等よく知っている人の声を聞きわける
- 声をだして笑う
- 人に向かって声をだす

<9 か月頃>

- 名前を呼ぶと振り向く
- 大きい声に、手を引込めたり、泣きだす
- おもちゃに向かって声をだす
- 「マ」「バ」「チャ」「ダ」などの声をだす

<12 か月頃>

- 「ちょうだい」「ねんね」等のことばを理解する
- 「バイバイ」の声かけに反応する
- 大人のことばをまねようとする
- 意味は伴わないが、さかにおしゃべりする

ことばの発達には、個人差がありますので、気になる時はかかりつけの医師や市町村の母子保健担当課にご相談ください。

新生児聴覚検査のご案内

新生児聴覚スクリーニング検査

新生児聴覚検査の詳細は、かかりつけの産科医療機関、あるいはお住いの市町村の母子保健担当課にお問い合わせください。

2020年11月作成

沖縄県

まこえの島嶼センター

👶 新生児聴覚スクリーニング検査とは…

新生児聴覚スクリーニング検査とは、生まれてまもない赤ちゃんを対象に行う耳のきこえの検査です。きこえが悪いのは、目に見えず、2歳まで気づけないことが多いため、発見が遅れがちとなります。きこえが悪いことに気づけずにいると、コミュニケーションが取りにくいだけでなく、ことばの発達が遅れるなどの影響が出てきます。新生児聴覚スクリーニング検査で、きこえが悪いことを早く見つけ、適切な治療や支援を受けることで、赤ちゃん自身の能力を十分に活用して、ことばの発達を促すことができます。

Q きこえに障がいをもつ赤ちゃんはどのくらいいるのですか？

A 生まれた時からきこえに障がいをもつ赤ちゃんは、1000人に1〜2人とされています。

Q どのような検査ですか？

A 新生児聴覚スクリーニング検査は、赤ちゃんが眠っている間に音を聞かせて、その反応を記録し、自動的に判定を行います。赤ちゃんに負担はなく、10分程度で行うことができ、痛みや害はありません。検査は健康保険が適応されないため、自費診療となりますが、最近では、公的補助が受けられる市町村もありますので、市町村窓口にご相談ください。

Q いつ検査を受けたいですか？

A 出生後入院中もしくは生後1か月以内に行うことをおすすめします。生後1か月を過ぎると、起きている時間が長くなり、検査が難しくなるためです。

Q 検査で「反応あり」でした。きこえに心配はありませんか？

A 検査した時点では、きこえには問題ありません。しかし、成長の過程で、中耳炎やおたふく風邪などによって、きこえの障がいがおこる事があります。今後も、きこえの様子に気をつけ、乳幼児健診等できこえとことばのチェックを受けましょう。気になる時は、かかりつけの医師や、市町村の母子保健担当課にご相談ください。

Q 検査で「反応なし」でした。きこえに障がいがあるのでしょうか？

A 検査結果が「反応なし」とは、「きこえが悪い」ということではなく、検査で十分に反応が得られなかったということです。生まれたばかりの赤ちゃんの場合、耳垢や耳の中に羊水が残っている等の原因により、正しい反応が得られないことがあります。基幹病院の耳鼻咽喉科で、もう少し詳しい検査が必要となります。

Q 精密検査ではどんな検査を行うのですか？

A 精密検査は、基幹病院の耳鼻咽喉科で耳の診察や脳波による詳しい検査を行います。診察や検査は、健康保険が適応されます。また、子ども医療費助成の対象となります。

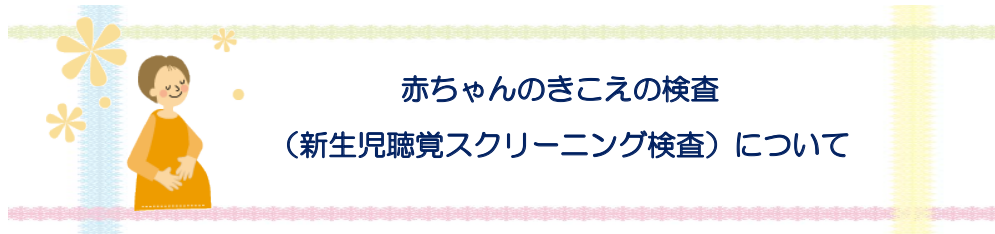
Q 精密検査の結果、きこえに障がいがあると分かった場合、どうしたらいいのですか？

A ご家族にとって、とても不安に感じることと思います。しかし、きこえの障がいは、早期より適切な支援を受けることにより、赤ちゃん自身の能力を十分に活用し、ことばの発達を促すことができます。特に両耳ともきこえの障がいの場合は、早期に専門的な支援を行い、聴能訓練・言語指導などを行う事になります。精密検査を行った耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。また、片耳のきこえの障がいの場合は、基本的にことばの遅れの心配はありませんが、定期的な診察とことばの発達の確認を行う必要があります。

XI. 資料・様式

【様式1：啓発用リーフレット兼同意書】

〈様式1〉 （新スク実施機関（AABR用）→ 保護者）



当院では、赤ちゃんのきこえの障害を早期に発見するために、新生児聴覚スクリーニング検査を行っています。検査を受けられることはお勧めしていますが、希望されるかは保護者の自由な判断となります。

Q. なぜ検査が必要なの？

生まれてくる赤ちゃんのうち、1,000人に1~2人が生まれつき耳のきこえに障がいを持つといわれています。他の生まれつきの疾患に比べ多くなっています。また、きこえの障がいは「見えない」ため、2~3歳になって「ことばの遅れ」などで、初めて気づくこともあります。

しかし、きこえに障がいがある場合には、早く発見し、適切な治療や支援がなされることで、ことばの発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。

Q. どんな検査なの？

当院では、自動聴性脳幹反応による検査（AABR）を行っています。

この検査は、赤ちゃんがぐっすり眠っている状態で小さい音を聞かせて、その時の脳から出る反応波形を測定し、耳のきこえが正常な波形と比較することにより、自動的に判定する検査です。眠っている間に検査は数分間で終わり、痛みや副作用もありませんし、お薬を使用することはありません。

Q. 検査の結果は？

検査結果は、「パス（pass）」または「リファー（refer）」のいずれかで、入院中に分かります。

「パス」の場合は、今のところ耳のきこえに問題ないといえます。ただし、進行性の難聴や中耳炎などにより一時的に難聴になることもあり、成長・発達の中で、きこえに不安がある時には医療機関に相談することが必要です。

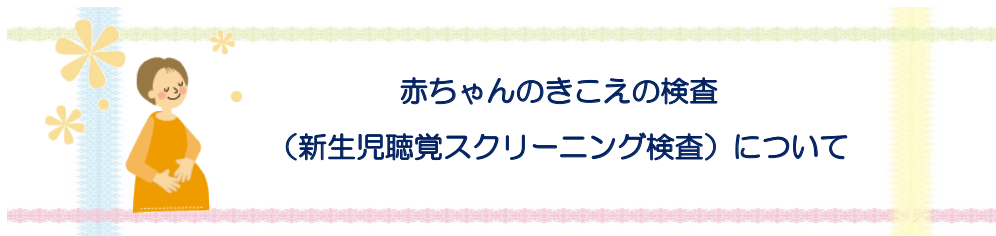
「リファー」の場合は、今回の検査ではうまく判定ができないという意味で、詳しい検査を受けていただきます。新生児の場合、きこえが正常であっても、耳の中に体液が残っていたり、検査時の体動や啼泣のために「パス」しないことがあり、「リファー」は必ずしもきこえに障がいがあることを意味していません。

Q. 検査の費用は？

市町村によって公費負担があります。お住まいの市町村へお問い合わせください。



ご不明な点がありましたら、担当医や看護師・助産師又は地域の保健師にお尋ねください。



赤ちゃんのきこえの検査 (新生児聴覚スクリーニング検査) について

当院では、赤ちゃんのきこえの障害を早期に発見するために、新生児聴覚スクリーニング検査を行っています。検査を受けられることはお勧めしていますが、希望されるかは保護者の自由な判断となります。

Q. なぜ検査が必要なの？

生まれてくる赤ちゃんのうち、1,000 人に 1~2 人が生まれつき耳のきこえに障がいを持つといわれていて、他の生まれつきの疾患に比べ多くなっています。また、きこえの障がいは「見えない」ため、2~3 歳になって「ことばの遅れ」などで、初めて気づくこともあります。

しかし、きこえに障がいがある場合には、早く発見し、適切な治療や支援がなされることで、ことばの発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。

Q. どんな検査なの？

当院では、耳音響放射による検査 (OAE) を行っています。

この検査は、赤ちゃんがぐっすり眠っている状態で、耳に入れた小さいスピーカーから刺激音を聞かせ、音がきこえた時に耳の中から反射してくる小さい音を記録する検査で、自動的に判定する検査です。眠っている間に検査は数分間で終わり、痛みや副作用もありませんし、お薬を使用することはありません。

Q. 検査の結果は？

検査結果は、「パス (pass)」または「リファー (refer)」のいずれかで、入院中に分かります。

「パス」の場合は、今のところ耳のきこえに問題ないといえます。ただし、進行性の難聴や中耳炎などにより一時的に難聴になることもあり、成長・発達の中で、きこえに不安がある時には医療機関に相談することが必要です。

「リファー」の場合は、今回の検査ではうまく判定ができないという意味で、詳しい検査を受けていただきます。新生児の場合、きこえが正常であっても、耳の中に体液が残っていたり、検査時の体動や啼泣のために「パス」しないことがあり、「リファー」は必ずしもきこえに障がいがあることを意味していません。

Q. 検査の費用は？

市町村によって公費負担があります。お住まいの市町村へお問い合わせください。



ご不明な点がございましたら、担当医や看護師・助産師又は地域の保健師にお尋ねください。

《様式 1》 (新スク実施機関 → 保護者)



新生児聴覚スクリーニング検査結果の 関連機関および市町村などへの連絡について



1. 関連機関への連絡について

今回 行う新生児聴覚スクリーニング検査が「リファー」の場合は、下記の関連機関（琉球大学病院 きこえの支援センター）へ報告します。

きこえの支援センターでは、新生児聴覚スクリーニング検査を実施した機関より報告を受けると、精密検査機関へ連絡をとり、診察日・検査日程を調整します。検査日程を調整することで、精密検査までスムーズに行う事ができます。

また、きこえの支援センターでは、年に1度 年間の検査件数と精密検査結果を報告し、沖縄県における新生児聴覚スクリーニング検査の実態を確認しています。そのため、今回の検査結果、精密検査の検査結果などの情報を収集しています。

【連絡先】 琉球大学病院 きこえの支援センター（琉球大学病院 耳鼻咽喉科内）
医師：鈴木幹男 言語聴覚士：兼本怜子・与座要
住所：西原町字上原 207 番地 TEL/FAX：098-895-1739
ホームページ：https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp

2. 市町村への連絡について

今回 行う新生児聴覚スクリーニング検査が「リファー」の場合は、きこえの支援センターを通して、お住いの市町村の母子保健担当課へ報告します。

お住いの市町村では保健師が、赤ちゃんの健康や子育ての悩み全般について相談をお受けしていますので、結果を市町村の母子保健担当課に連絡することにより、お住いの地域における育児支援サービスや医療費などの公費負担制度について、スムーズに情報を得られるようになります。

3. 個人情報について

検査結果などの個人情報は、精密検査日の調整やお子さんご家族への支援以外の目的には使用されません。お子さまのプライバシーを守ることにしても、十分に注意をはらいますので、検査結果などについて、関連機関およびお住いの市町村の母子保健担当課に連絡することに同意をお願いします。

ご不明な点がございましたら、担当医や看護師・助産師又は地域の保健師にお尋ねください。

新生児聴覚スクリーニング検査 同意書兼申込書

検査について、次のいずれかの口に✓を入れ、下欄に必要事項を記入してください

私は、新生児聴覚スクリーニング検査の必要性や注意事項などについて説明を受けました。

また、検査結果などの個人情報や、聞こえの評価（詳しい聴力検査を実施できる施設への紹介、検査の精度管理など）および、お子さまとご家族の支援のために下記の関係機関（琉球大学病院 きこえの支援センター）へ提供することについての説明を受けました。

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望し、検査の実施を申し込むとともに、検査結果を関係機関および市町村へ通知することを同意します。

【連絡先】 琉球大学病院 きこえの支援センター（琉球大学病院 耳鼻咽喉科内）
医師：鈴木幹男 言語聴覚士：兼本怜子・与座要
住所：西原町字上原 207 番地 TEL/FAX：098-895-1739
ホームページ：https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望し、検査の実施を申し込みますが、検査結果を関係機関および市町村へ通知することは希望しません。

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望しません。


記入日	年 月 日		
ふりがな 保護者氏名		赤ちゃんとの 続柄	
ふりがな 赤ちゃんの名前	(決まっていれば)		
生年月日	年 月 日		
現住所			
保護者住所	(里帰り出産などで現住所と異なる場合)		
電話番号			

※ 同意書兼申込書は各施設で保管して下さい。

XI. 資料・様式

【様式2：きこえとことばのチェックシート】


《様式2-2》 (新スク実施機関 → 保護者)



おうちで行う
きこえとことばのチェックシート

赤ちゃんは1歳前でも、いろいろな音をきいたり声をだしたりして、お話すための準備をしています。これは、ことばや保護者との関係を育てる上でとても大切な時期です。進行性の難聴や中耳炎などによって、生まれた時は問題なくても、後になり耳のきこえが悪くなることもあります。そのため、お子さまのきこえに異常がないかどうかと注意し続けることがとても重要です。

チェックシートは、耳のきこえとことばの発達を主な月齢で書き出しています。できる項目に○をつけて、各月齢で○がついた項目が半分以上の時には、念のためかかりつけ医や地域の保健師に相談して下さい。



<3か月頃>

- () 大きな音に驚く
- () 大きな音で目を覚ます
- () 音がする方を向く
- () 泣いている時に、声をかけると泣き止む
- () あやすと笑う
- () 話しかけると「アー」「ウー」などと声を出す

<6か月頃>

- () 音がする方を向く
- () 音が出るおもちゃを好む
- () 両親などよく知っている人の声を聞き分ける
- () 声を出して笑う
- () 「キチャッキヤツ」と声を出して喜ぶ
- () 人に向かって声を出す

<9か月頃>

- () 名前を呼ぶと振り向く
- () 「イナイ イナイ パー」の遊びを喜ぶ
- () 「ダメッ!」「コラッ!」などと言うと、手を引っ込めたり、泣き出したりする
- () おもちゃに向かって声を出す
- () 「マ」「ダ」「バ」などの音を出す
- () 「チャ」「ダダ」などの音を出す


<12か月頃>

- () 身振りなしに「ちようだい」「ねんね」「いらっしやい」などのことばを理解する
- () 身振りなしに「バイバイ」のことばに反応する
- () 大人のことばをまねようとする
- () 意味のあることばではないが、さかんにおしやべりする
- () 意味のあることばを1つか2つか言える
- () (例：食べ物のことばを「マンマ」、お母さんを「ママ」など) 単語の一部をまねて言う


<1歳6か月頃>

- () 絵本を読んでももらいたがる
- () 絵本を見て知っているものをたずねると指さす
- () 簡単な言いつけが分かる
- () (例：「このゴミを捨てて」「その本を取って」など) 意味があることばを1つか2つ言える
- () 意味があることばを3つ以上言える
- () 絵本を見て、知っているものをたずねると名前を言う

◎ このチェックシートは、母子手帳と一緒に保管しましょう



【 琉球大学病院 きこえの支援センター 】
TEL/FAX : 098-895-1739
URL : <https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp>



【様式 3-1 : 「pass」用検査結果説明文】

《様式 3-1》 (「pass」の場合 : 新スク実施機関 → 保護者)

赤ちゃんのきこえの検査
(新生児聴覚スクリーニング検査) 結果のお知らせ

今回の検査 (_____ 年 _____ 月 _____ 日実施) では、
両耳とも _____ さんの耳のきこえに異常は認められませんでした。

ただ、現時点で異常が認められなかった場合でも、成長の過程で中耳炎やおたふくかぜなどによる聴覚障害や、赤ちゃんの時には聞こえが正常でもその後 悪くなる進行性聴覚障害が起こる可能性があります。

このため、「きこえとことばのチェックシート」を参考にして、これからもお子さんのきこえとことばの発達に注意してください。

今後、お子さんのきこえやことばの発達について心配なことがありましたら、担当の産科・小児科の医師、耳鼻咽喉科の医師、またはお住いの市町村・保健所の保健師などにご相談ください。

年 月 日

医療機関名

医師名

XI. 資料・様式

【様式 3-2 : 「refer」用検査結果説明文】

《様式 3-2》 「refer」の場合：新スク実施機関 → 保護者)

赤ちゃんのきこえの検査 (新生児聴覚スクリーニング検査) 結果のお知らせ

今回の検査（ _____ 年 _____ 月 _____ 日実施）では、
(右耳 ・ 左耳 ・ 両耳とも) で _____ さんの音に対する反応を
捉えることができませんでした。そのため、詳しい検査を受けられることをお勧めします。

赤ちゃんが受けた「新生児聴覚スクリーニング検査」では、眠っている間にささやき声の大きさの音を聞かせ、反応を調べています。

この結果がただちに「きこえに異常がある」「きこえにくい」というわけではありません。耳の中に羊水がたまっていたり、動いたり泣いたりしてうまく検査ができなかった可能性もあります。

よって、きこえに障がいがあるのかは現時点では不明なため、詳しい検査ができる耳鼻咽喉科を紹介しますので、必ず精密検査を受けてください。

なお、詳しい検査を受けるまでの間、お子さんのきこえや発達について心配なことがありましたら、担当の産科・小児科の医師、琉球大学病院 きこえの支援センターなどにご相談ください。

また、今後 子育ての相談や適切な支援をするために保護者の同意の上、今回の検査結果を関連機関(琉球大学病院 きこえの支援センター)に連絡させていただきますので、ご理解とご了承をお願いします。お子さまとご家族のプライバシーを守ることについては、十分な配慮を致します。

年 月 日

医療機関名

医師名